

## 『運を呼び込む生き方を!!』

## — 運命は変えられる —



高井法博会計事務所  
TACTグループ 関連11社代表  
税理士 高井法博

「禍福は、あざなえる縄のごとし」という格言がある。経営を行なっていると本当に嫌になるほど次々と問題が生じ、その対応に迫られる。成功のコツは、これら問題を決して放置せず、一つ一つ確実にしつかりと対処する事である。その一つ一つがあるべき姿で、誰が見ても誠実、正直で、正義で公明正大な対応が必要である。これが運を呼び込む事となる。

## 一、私は運がいい

私は自分自身の人生を振り返ってみて、本当に運がいい男だと思う。確かに貧乏で、両親は病気がちで、生活保護を受けなければならぬ様な状況の中で生きてきた。しかし、ドジであったが子供への教育には熱心だった。とても正直で思いやりや優しさのある両親であった。

高校進学もままならなかった時、色々な先生が奔走され、見ず知らずの私を高校に行かせて下さった大恩人に引き合わせていただけた。その後入った高校で、

人生の中のたった三年間であったが、多くの先生、先輩、同級生、後輩からどれだけの助けを受けたか、未だにお互い助け合いながら人生を送っている。卒業後、大恩人の会社に入社させていただき、十二年間のサラリーマン生活を送ったが、社長をはじめ素晴らしい上司に恵まれた。与えていただく仕事も、常に私の能力を一步越える難しいがやりがいと責任のあるもので、また私のために厳しく指導して下さった。「仕事を通して自らが成長できた」と実感し、能力を越える仕事で心身に変調を来したこともあったが、この治療のなか、素晴らしい名医に出逢い、今では家族ぐるみでお付き合いをいただいている。私は勤務の傍ら、税理士試験に挑戦し、睡眠時間を一日四時間とし、独学で頑張り合格した時は、つくづく「私は運がいい」と思った。お許しをいただき開業した後も、今まで出逢った多くの方から絶大なバックアップを受

けるとともに、更に素晴らしい方々をご紹介いただいた。開業してからあつという間に今年で二十八年目を迎えている。その途中では、まさに格闘技の連続であった。次々と色々な問題や障害が私の前に立ちちはだかってきた。自分が逃げれば会社は終わりになる。莫大な借金もついていた。逃げたくても逃げることは許されない。踏ん張るしかない。そんな時、身を粉にして私を守り頑張ってくれた武藤をはじめとした素晴らしい社員がいてくれた。力はなくても、背中と背中を合わせ、四方の敵や困難な問題に立ち向かった。そうしたら不思議と勝った。

更に私を何とかしてやろう思っていただいた顧問、相談役、お客様や銀行、役所をはじめ多くの方々からの力も貸していただいた。私は粘り強かった。頭の悪さは、粘りに粘り、普通の人の二倍、二倍でできねば、密度で三倍の努力をすれば勝ちに持ち込むことができることを体験学的に修得した。私は常に逃げなかった。退路を断つて戦う時には、相手はびくついた。今まで色々な人に出逢い、別れてきた。大変な能力や才能がありながら、つまらない誤った判断や言動で没落し、信頼を無くしていく人を数多く見てきた。反面教師として自己を律するとともに「人生の師」「経営の師」を求め、

少しでも自分の「思想」を「心」を高めようと思った。求め続けることによって、素晴らしい師を持つことができた。

二、一生懸命正しい努力をすると神様の加護がある

創業二十八年、実に多くの突然なアクシデント、裏切りやピンチを体験した。それらに対して逃げないで、死に物狂いで対峙した。そうするとその都度、誠に絶妙なタイミングで神風が吹いた。後ろを振り向いて見ると、いつ足を踏み外してもおかしくない程の断崖絶壁の細い一本道を歩いてきているような気がする。本当に色々な人が助けてくれた。また規則や制度が味方した。その他にも、不思議と絶妙な時期に、問題解決のための色々な出来事やヒント、材料が私の目の前に現れてくる。私は本当についている。神様の大変な加護があると思わずにはおられなかった。この「ツキ」を大事にしたいと思う。そのために、運が自分に回ってくるような正しい生き方をしなければならぬと最近特にそう思う。



皆様と、  
青年部の皆様と、  
自宅にてバーベキュー